

下野薬師寺(下野市)



安國寺の境内は国指定史跡下野薬師寺跡の主要伽藍が、あった場所に位置している。

下野薬師寺が創建されたのは、七世紀後半の白鳳時代で、後に日本三戒壇の一つがこの地に設置され、東国仏教文化の中心地となった。薬師寺は室町時代に足利尊氏の発願に



安國寺

より安國寺と寺名を改称したと言われている。現在の安國寺の境内にはありし日の戒壇院を偲び、その跡地と推定される所に江戸時代に建てられた六角堂(市指定文化財)が、永い歴史の中にひっそりとしたずんでいる。

なお、近年ガイダンス施設として薬師寺歴史館が建てられ、また往時の建物の一部が復元されるなど史跡の整備が進んでいる。

■行事

- 1月1日 元朝祈願法要
- 3月21日 春季彼岸法要
- 5月4日 釈尊降誕会法要
- 8月10日 施餓鬼会法要
- 9月23日 秋季彼岸法要

能仁寺(真岡市)



真岡市は栃木県の南東部に位置し、県都宇都宮から東南20kmに位置しており、人口約6万人のまちです。

真岡市内には古い歴史を偲ばせる文化財が多く存在しております。その中に足利氏とゆかりの深い『能仁寺』があります。

1320年(元応2年)7月9日の夜15歳の尊氏は、夢の中で下野国芳賀郡根本の境沢と称するところの土を3mあまり掘れ、という異形の僧のお告げを得ました。その場所からは、自然石に刻まれた下部に、白黒2匹の蛇がからみつくような奇妙な形の尊像が出されました。尊氏は深くこの2体の尊像を尊信し、持仏として戦場に臨んだといわれています。

後、ここに一字を建て安置しこれを境沢の観音堂といい

その境沢の観音堂の守護のため1342年(康永2年)愛宕下に能仁寺を創建しました。

能仁寺本尊釈迦三尊像

